



●本日 2月10日 金のプログラム  
◎第57回小樽市内高校優秀卒業生表彰式

●来週 2月18日 土のプログラム  
◎3クラブ「合同例会」  
会場:ニュー三幸 点鐘:16:30~

●再来週 2月24日 金のプログラム  
◎国際奉仕・青少年奉仕委員会担当例会

2016-17年度 地区目標  
●地域と共に活動  
●地域組織の活性化  
●地域と共に

●2015-2016年度 IRテーマ

Rotary Serving Humanity  
人類に奉仕するロータリー  
2016-17年度IR会長 ジョン・ジャーム

上野年度信条

脚下照顧  
きやつかしようこ  
足下を照らして顧り見る  
(自分の足下を見る)

28  
2017年2月10日発行  
通巻 第2778号  
1960年創立  
昭和35年2月5日

●第27回例会報告 2月3日 金 スピーカー:石川 直章氏 (小樽市総合博物館 館長) ●司会/柴田副会長

- 国歌斉唱 ■「君が代」
- ロータリソング ■「四つのテスト」
- 会長挨拶 ■上野会長

○本日の「例会プログラム」スピーカー 石川直章小樽市総合博物館長のご講話大変楽しみしております。ご多忙の中 お越しいただき誠に有難うございます。

■米山奨学金授与 ■蘇 迪亜さん (米山奨学生)



■幹事報告 ■三栖幹事

- 本日、2月理事会を例会終了後に行いますので理事の方、宜しくお願い致します。
- 去る1月29日、地区委員の山田さんと2016-2017年度 国際ロータリー第2510地区学友会「学友体験・帰国報告会」に参加してきました。財団学友、米山学友等が一堂に会し、パネルディスカッション、帰国報告会と内容の濃い意見交換で、大変良い機会を得ました。
- 小樽ロータリークラブより、ロータリー創立記念小樽3クラブ合同例会に伴う、移動例会、振替休会の案内が来ております。

■委員会・同好会報告 ■

◎国際奉仕委員会 桂委員長

○国際奉仕委員会では、2月11日(土曜日)小樽商

- 科大学国際交流サークルとの企画で、「わかもの英会話カフェ&キャンプ」を企画しております。
- 小樽商科大学の留学生を招き、ネイティブの英語表現を教わる予定です。また、参加者は小学5年生から20代までとし、「英会話」を通して小樽異学年交流の場を作っていきたいと思っております。また、「雪あかりの路」を散策し、英会話を通して交流を深める予定です。

●■会員誕生祝 ■2月生まれの会員

- 2/11 梶 会員 /12 村越会員
- /23 佐藤(喜)会員



●■奥沢村会開催 ■

○場所:朝里クラッセホテル 2/4(土) PM18:00~



2017.02.04 19:50

# 「明治の小樽 北日本随一の経済都市」

小樽市総合博物館 館長・学芸員

石川直章氏



国立国会図書館に『北海道勲業統計要覧』（明治 39（1906）年 8 月 北海道庁編）と題された、B6 版 90 ページあまりの小冊子が所蔵されている。明治 38 年の北海道の産業、交通などの統計が掲載されているのであるが、ちょうどこの時期に、小樽は北日本随一の経済都市として頭角を現す。

明治 38 年は日露戦争終結の年であり、その後樺太（サハリン）南半を領有することになる。小樽区（当時）内の人口 86,471 人（全道人口の約 7%）、北海道炭鑛鉄道の小樽駅（南小樽）と北海道鉄道の高島駅（小樽駅）連絡線開通が開通した年でもある。

前々年の明治 36 年に手宮大火、翌 37 年には市街地の大半が焼失した色内大火があったにもかかわらず、港は活況を呈していた。

明治 30 年代半ばには、小樽港は国内移出入量ですでに函館港を上回っていた。その移出品目も違いを見せていた。函館港が水産物の占める割合が 61%、農産物は 14%に過ぎないのに対し、小樽港では水産物 34%、農産物 33%と農産物が多くを占めている。これは入植者による農業開発が全道的に安定し、函館が江戸時代以降の伝統的な生産を背景としているのに対し、

● し、小樽は鉄道の拠点となったことも相まって、道内各地の農産物の集約地となった状況を示している。

● このような経済的活況は、例えば金融機関の進出という現象ももたらした。全道での銀行業のうち、小樽（後志）だけで 31%、14 行が区内で営業をしていた。また、商工業家数でも全道の 30%をしめている。物流の状況をあらわす倉庫業者の数では全道の 48%が集中している。

● この 2 年後、小樽に新聞記者として赴任した石川啄木は、この当時の小樽の状況を後にこう記している。

● 「小樽人は歩行せず、常に疾駆す。小樽の生活競争の劇甚なる事、殆んど白兵戦に似たり。其生活の調子の男性的にして急調なる事、爽快、勇壮、歓呼の趣を通越して、却って悲壯の感を与へむとす。彼等は休息せず、又歌はず、又眺めず。唯疾駆し、唯奮進す。『疾駆する小樽人』の心臓は鉄にて作りたる者の如し。」（『胃弱通信』石川啄木）

● この後、小樽は北日本随一の経済都市としての足場を固めていき、第一次世界大戦の余波による好景気を迎え、運河の完成、銀行街の登場など、昭和初期の栄光の時代に向かって歩みを進めていく。

● 小さな統計書にはそのエネルギッシュな小樽の姿が詰め込まれている。

## 第 8 回理事会 議事録 審議議案及び連絡事項

### ① 2、3、4 月例会プログラムについて

- 2 月
  - 2/3 小樽市総合博物館 館長 石川 直章氏、卓話
  - 2/10 小樽市内高校優秀卒業生表彰式
  - 2/18 (土) 3 クラブ合同例会により 2/17 の振替
  - 2/24 通常例会 国際奉仕・青少年奉仕委員会担当例会
- 3 月
  - 3/3 通常例会 杉本日銀支店長 卓話
  - 3/10 通常例会 米山奨学生 スーさん送別例会
  - 3/17 通常例会 菊池小樽駅長 卓話
  - 3/24 休会 (定款 6-C-1)

- 3/31 通常例会
- 4 月
  - 4/7 通常例会
  - 4/14 通常例会 小樽市立病院見学、健康セミナーの移動例会
  - 4/22 (土) 第 6 グループ IM (倶知安) 4/21 振替?
  - 4/28 通常例会 承認

### ② その他

- 定款細則改正に対する特別検討委員会の 2 月開催の検討
- 期末懇親会に於けるジンバブエ“ジャナグル”演奏について来日日程等、今後確認検討 承認

## 出席委員会

### ● 平成 29 年 2 月 3 日

会員総数 65 名 本日の欠席者 10 名  
 荒木、小笠原、紺谷、佐藤(公)、佐藤(友)、佐藤(喜)、地山、前川湊、山田

### ● 平成 29 年 1 月 20 日 (金)

- 会員総数 65 名 出席摘要免除者 12 名
- 病欠者数 名 出席計算員数 53 名
- ホーム欠席者数 15 名 メーキャップ 8 名
- 純欠席者数 7 名 確定出席率 95.08%

## ● メーキャップ

- 1/20 湊 /20 地山 /27 佐藤(友)

## ● まごころ箱 いつも有難うございます！

- 廣瀬 会員 交通栄誉賞 緑十字金賞を受賞しました。ただ永く交通関係に携わってただけです。
- 岩船 会員 卒寿を無事終えて。 梶 会員 会員誕生祝。
- 柴田 会員 夫人誕生祝。 福島 会員 夫人誕生祝。
- 工藤 会員 毎年、ブックスタートへのご協力有難うございます。

- 村越 会員 お先に失礼します。 石川 会員 夫人誕生祝。
- 桂 会員 余市 RC へ 米山奨学生 蘇迪亜さんの卓話で訪問。

● まごころ箱入金集計額 (H28.7.3~H29.2.3)

2月3日分 20,500円 合計 **726,000円**